

病院名・診療科等	大原総合病院コース
担当責任者	石橋 敏幸

概要／方針等

大原総合病院は創立125年の歴史をもち福島県東北地区の基幹病院として地域医療に貢献しています。学術的には、1925年に大原八郎先生が野兔病を発見しそのことは世界的にも知られ、現在の病院理念“人を愛し、病を究める”にその精神は一貫して反映されています。そして、臨床研修病院として充実した研修内容に定評があり、県内外の地域医療を担っている多くの若手医療人を輩出している実績があります。特に強調したいことは、地域医療の将来を見据えて教育・人材育成を病院の中心軸におき、若いメディカルスタッフを大切にできる環境を備えています。実際の各科の診療内容は熱い指導医が皆さんを待っており、さらに最新の医療機器を駆使したチーム医療が展開されています。当院研修医がNHK番組ドクターGには3年連続で出演しました。6年生の皆さんの要望に充分応えることのできる臨床直結の実習・教育を提供します。

学習目標

【一般目標】

本コースにおける目標を3点とする。1点目は、救急医療の診察に救急専門医、総合診療医、各科専門医、研修医とともにあたり、地域救急医療の現場を学ぶことである。2点目は外来・入院患者さんの診療に担当医、研修医とともにあたり、チーム医療の実際を経験し、地域医療の主役者として臨床の実際を学ぶことである。3点目は救急蘇生の実際を確実に習得し、救急蘇生医療の主体者になることである。

【行動目標】

1. しっかりあいさつをする。
2. 医療人としての行動をとる。
3. 救急患者さんのバイタルサインをとり診察にあたり、診断へのアプローチを学ぶ。
4. 救急蘇生（一次救命処置BLSおよびICLS）を確実に習得する。
5. 外来の診療にあたり、問診、診察の実際を経験し、診断に至る診察および検査等のアプローチを学ぶ。
6. 入院患者さんの診療にあたり病態と治療について担当医とともにディスカッションし、他職種とのチーム医療の実際を経験す
7. 院内カンファランスに参加しEBMに基づいた診断、治療さらに予防について学ぶ。
8. 2週間のまとめを発表する。

テキスト 特に指定はありません。

参考書

評価方法 外来・救急外来の診察や入院患者診療におけるディスカッションや発表を評価する。

その他（メッセージ等）

- ★希望に合わせて実習内容を設定します。
- ★できるだけ公共交通機関をご利用ください。自家用車を希望する場合はご相談ください。
- ★院内用上履きを持参する。昼食券は準備します。

実習計画／担当指導医等

【実習計画】

- 月曜日：【朝】研修医とともにカンファランス 【終日】救急外来 【夕】輪番当直実習 ※第2週目のみ
- 火曜日：【終日】救急外来
- 水曜日：【午前】腎臓内科 【午後】循環器内科 ※大原医療センター 【夕】画像診断カンファレンス ※第2週目のみ
- 木曜日：【午前】救急蘇生実習 【午後】病理診断科 【夕】レジデントレクチャー ※午前と午後が交換になる場合あり
- 金曜日：【終日】麻酔科
- 【第2週目】月・火曜日：希望診療科実習① 水・木・金曜日：希望診療科実習② ※最終日の午後は「まとめの会」を実施
- ・初日は午前8時に旧研修医室に集合してください。
 - ・翌日からの集合時間：午前8時30分 旧研修医室
 - ・第2週目の月曜日は夕方から午後10時まで救急外来実習のため午後に休憩をとることとし、火曜日は午前9時から実習開始とする。
 - ・実習終了時刻：指導教官との振り返りが終了し次第（おおよそ午後2時～3時頃）

【実習担当指導医】

- ・石橋敏幸 / 大原総合病院 副院長（循環器科）
- ・川井 巧 / 総合診療科 部長